

第7回事故調査・検証委員会 畑村委員長記者会見

日時：平成24年1月25日(水)17:00～
場所：三菱総合研究所ビル2Fセミナー室

本日、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会の第7回会合を開催致しました。

本日の会合では、最終報告に向けた進め方や、今後の調査事項について議論をしました。

まず、最終報告の取りまとめの時期ですが、中間報告では、「今年の夏頃」とだけ記載していましたが、より具体的に、7月下旬を予定することとしました。

最終報告に向けた作業については、中間報告と同様に、事実関係の部分は事務局に原案をまとめさせ、委員会としての評価・提言の部分は、委員、技術顧問で構成するワーキンググループが直接執筆することとしました。

ワーキンググループのメンバーは、引き続き、委員長である私のほか、柳田委員長代理、高須委員、高野委員、安部技術顧問、淵上技術顧問を指名致しました。

次に、事務局の体制についてですが、昨年6月の第1回委員会において、事務局に、まず3つの調査チームを立ち上げ、これらの3つのチームにおける検討状況を踏まえつつ、4つ目のチームとして、制度的な事柄を担当する「法規制の在り方の検討チーム」の整備を検討することとしておりました。

しかし、既に中間報告でも、現在の3つのチームの調査・検証に基づいて、制度的な事柄についても指摘や提言を行っており、改めて別にチームを設ける形にする必要はないだろうということになりました。

したがって、今後も、現在の3つのチームによる調査・検証の中で、制度的な事柄についても検討を行っていくこととなります。

今後の調査事項については、当面の取組として、配布資料に記載してある事柄について調査を行うことになりました。

ただし、これも配布資料に記載してありますが、調査事項は、今後、調査の状況や、海外の専門家との意見交換などを踏まえ、追加・変更があり得ます。

最後に、今回の事故の調査・検証について、海外の専門家から意見を聞く件についてです。

これまでも、海外の専門家を2月に日本にお招きして国際会議を開催する予定であることをお伝えしてきましたが、その具体的な日程がおおむね固まりました。

海外専門家の皆様には、先ず、2月23日木曜日に、福島第一原発の現地視察をして頂きます。

この視察については、マスコミへの対応はいたしませんのでご承知おきください。

そして、2月24日金曜日及び2月25日土曜日の2日間にわたり、会議を開催致しません。

会議の場所は、新宿の京王プラザホテルです。

会議は、同時通訳を入れ、マスコミに公開して行います。

2月25日土曜日の会議の終了後、当委員会と海外専門家との合同記者会見を行います。

この合同記者会見も、京王プラザホテルで、同時通訳を入れて行います。

会議や記者会見の時刻などを含めた詳細は、後日、改めてお知らせします。

なお、海外の専門家のメンバーについては、これまでにアメリカ、フランス、スウェーデン、韓国の専門家を発表致しましたが、現在、折衝中の専門家もおりますので、今後、追加があり得ます。

メンバーが追加になった場合は、速やかに発表したいと思っております。